平成２５年度　阿賀町特別活動部　活動報告

部長　吉井　辰成

１　研究主題　　学習指導要領に即した特別活動の在り方

２　研究の概要

第１回：活動計画の立案
第２回：各校の取組紹介及び情報交換会
第３回：講話「学習指導要領に即した特別活動の在り方」
　　講師　新潟市立新潟小学校　教諭　羽田　雄偉
第４回：授業研究にかかわる指導案検討会　教育課程伝達講習
第５回：授業研究
　・５年　「１・２年生と仲良くなろう」　三郷小学校　教諭　齋藤　忍
　・指導者　阿賀町立日出谷小学校　校長　石塚　文弘

３　研究の実際

（１）第３回（６月１９日）講話より

講師の方から、特別活動の理論、そして理論を裏付ける実践の２つについて、ご講話をいただいた。特別活動の理論では、学習指導要領の改訂のポイントである「人間関係」構築力、社会参画、自治的能力について詳しく説明をいただき、「子どもの自主性を出させるためには教師の指導力が必要である」といった特別活動の不易の部分についても、分かりやすく教えていただいた。特別活動の実践では、羽田先生が取り組まれている学級活動、学級経営について、様々な事例をもとに教えていただいた。

（２）第５回（９月１８日）授業研究会より

授業は、「１・２年生ともっとなかよくなろう」を題材にした提案授業であった。授業者は、一人一人の児童の考えを大切にしたいという思いから、事前に付箋を使った考えの交流を行っていた。授業では、児童一人一人が自分の考えを自信をもって話している姿が印象だった。指導者から、「特別活動の話し合いでは、議題に対しての子どもの切実感が大切である」といったお話や、学校生活における様々な場面を例に挙げた御指導をいただいた。

４　成果と課題

一つ一つの活動を通して、参加した部員一人一人が特別活動について見識を広めることができたことが大きな成果である。